

(第7回)

技術ベンチャー叢成ワークショップ

技術開発指向型ベンチャー企業の叢出と自立と成長

□ 第7回目のプレゼンターからの問題提起

ベンチャーを支える

～今、必要とされる支援、役に立つ支援者について考える～

今泉 裕美子 氏 東京コンテンツインキュベーションセンター(TCIC)
インキュベーションマネージャー
テクノロジーシードインキュベーション株式会社
インキュベーションプロデューサー
株式会社ツクリエ 取締役

●日時:2016年9月29日(木) 18:30～20:30 (講演60分、意見交換60分)

●場所:東京理科大学(神楽坂キャンパス)理窓会館第1会議室
(〒162-0825 新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂6階 アクセス 裏面参照)

●参加費:会員1,000円、非会員2,000円

●定員:最大35名(定員になり次第締め切ります)

●申込方法:FAX(03)6276-2424) またはEメール(office@jpmot.org)にて、
氏名、所属、住所、電話番号、Eメールを明記して、お申し込み下さい。

主催者日本開発工学会からのメッセージ

本会は「ビジネスの創造に関するすべての事柄を研究しようとする学会です」。余田幸雄会員の働きかけにより、「日本では新しい技術指向のベンチャー企業がなぜ成長しない」との課題に、1年近くの準備会合での意見交換を経て、ワークショップという形式で取り組むこと致しました。

ワークショップは、問題意識を会員以外にも共有して頂けるような、多様な方々からの報告を何うオープンなものとし、課題の整理を行い提言に繋げる活動を目的とすることと致しました。

ワークショップ事務局責任者 大橋克巳

コーディネーターからのメッセージ

1970年頃の第一次ベンチャーブーム以来、イノベーションの担い手としてのベンチャー企業は市民権を得るに至っていますが、技術開発指向型ベンチャー、とりわけ実験レベルから実用化まで装置(機器)等を介して先端技術を実用化し事業を成功させようとするベンチャー企業にとってはこの50年間厳しい環境に変化はないと言って過言ではないと思います。我が国でベンチャー企業が活動するにあたり、何が不足しているのか、何が理由で育たないのか、何故成功しないのか。これらの問題を、本ワークショップでベンチャー支援を行ってきた多くのかつ多様な実務家との意見交換を通して浮かび上がらせ、最終的に何らかの形で政策・プラクティスの提言に繋げていきたいと考えております。

コーディネーター 余田幸雄

●略歴

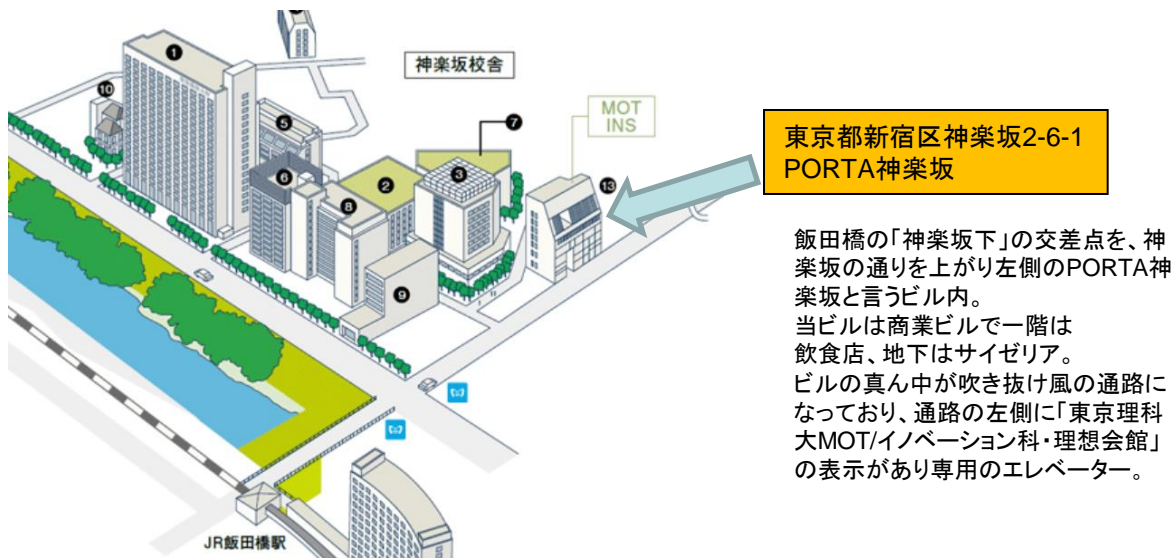
プレゼンター 今泉 裕美子 氏

総合広告代理店の後、映画・映像プロデューサーとして製作、配給から映画祭運営、スクール立ち上げなどに従事。コンテンツファンドを経て現在は東京コンテンツインキュベーションセンター(TCIC)インキュベーションマネージャーとしてコンテンツ起業家を支援。途中、2年半ほどマーザ・アニメーションプラネット株式会社に在籍。

関東経済産業局補助金事業Creative Market Tokyo(CMT)マッチングコーディネーター、クラスターマネージャー。東京都「海外アニメーション見本市MIFA2016出展等支援事業」「Tokyo Creators NEXT海外バイヤーとの商談マッチング支援」事業プロデューサー。一般社団法人中野区産業推進機構アドバイザー。

コーディネータ 余田 幸雄

1973年京都大学法学部卒業。通商産業省入省後1978年に研究開発型企業育成センター(VEC)に関わり、その後幾つかの技術関連部署に勤務。1997年6月JETROサンフランシスコ所長に就任。シリコンヴァレーにおけるJETROインキュベーターの創設や我が国の民間の機関との連携等若手進出の環境整備に関わる。2000年通産省を退職。2007年7月からタスク・ヨダとしてベンチャー企業支援活動を行う。



<申し込み> 第7回技術ベンチャー叢成ワークショップ(9月29日)と明記の上、下記項目に記入の上、FAXまたはeメール(office@jpmot.org)でお申し込み下さい。

- 氏名： _____ ●所属： _____
- 住所： _____
- 電話番号：(____) _____ - _____ ●eメール： _____